

令和4年度

第1回江別市景観委員会

会 議 録

令和4年5月23日(月)
江別市民会館 36号室

江別市景観委員会
(江別市企画政策部都市計画課)

目 次

1. 開会	3
2. 委嘱状交付	3
3. 副市長挨拶	3
4. 委員の紹介	4
5. 委員長の選出	4
6. 委員長挨拶	5
7. 委員長代理の指名	5
8. 議事	6
(1) 第20回江別市都市景観賞の開催について	
9. その他	9
10. 閉会	12

令和4年度第1回江別市景観委員会

1. 日時 令和4年5月23日(月) 午後1時30分～午後2時20分

2. 場所 江別市民会館 36号室

3. 出席者 江別市景観委員会委員6名、江別市7名(事務局含む)

景観委員会委員 ◎委員長 ○委員長代理		江別市		
番号	氏名	番号	氏名	所属
1	○ 渋谷 真澄	1	後藤 副市長	副市長
2	◎ 千里 政文	2	伊藤 次長	企画政策部
3	奈良 幸則	3	鳴海 課長	都市計画課
4	増田 秀男	4	宮川 係長	//
5	松本 紗矢子	5	布澤 主査	//
6	三島木 愛	6	渡邊 主任	//
		7	江崎 技師	//
出席 6 名		出席 7 名		

1. 開会

●鳴海課長

定刻前ですが委員の皆様がお揃いですので、ただ今より令和4年度第1回江別市景観委員会を開催します。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。開催においては、飛沫防止のため、マスクの着用や各席におけるパーティションの設置を行い、また、換気への配慮など、ウィルスに対する十分な対策を行った上で、効率的な運営に努めますのでご理解のほど、よろしくお願いいたします。

2. 委嘱状交付

●鳴海課長

はじめに、新たな委嘱期間となりますことから、皆様に、副市長より委嘱状を交付いたしますので、よろしくお願いいたします。なお、委嘱日は、任期開始日の5月11日まで、遡らせていただいております。交付においては、飛沫防止の観点から、副市長からの手渡しのみとさせていただきます。では、お一人ずつお名前をお呼びしますので、その場でご起立願います。

《副市長より渋谷委員、千里委員、奈良委員、松本委員、増田委員、三島木委員に委嘱状を交付》

なお、本日ご欠席された委員についても、委嘱させていただいております。

3. 副市長挨拶

●鳴海課長

それでは、副市長の後藤より、ご挨拶申し上げます。

●後藤副市長

副市長の後藤でございます。令和4年度 第1回江別市景観委員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

今年度は、委員の改選の年にあたりまして、今ほど皆様に委嘱状をお渡しさせていただきました。委員就任に際しましては、ご多忙にもかかわらずご快諾いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から市政運営に対しましてご理解とご支援、ご協力をいただいておりますことを重ねてお礼申し上げます次第でございます。

道内における新型コロナウイルスの新規感染者数ですが、増えたり減ったりを繰り返しながら、依然と高い水準で推移している状況でございます。江別市においても同様の状況が続いているところです。本委員会の開催にあたりましては、先ほど司会からありましたように、感染対策を十分に取ながら進めさせていただきたいと思っております。その際には、委員の皆様にも色々をお願いすることがあると思いますが、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて、令和2年に実施されました国勢調査の結果が昨年11月に公表されました。全国的

に少子高齢化、人口減少問題が大きく取り沙汰されておりますが、江別市におきましては、前回の平成27年の調査と比べまして420人ほど人口が増えておりまして、総人口が121,056人と数えております。人口増の要因といたしましては、年少人口の増加が大きく影響しておりまして、これまで実施してきました子育て応援のまちの様々な取組みが、成果を挙げてきているものと考えております。また、こうしたまちの魅力を高めるためには、江別市の特色である野幌森林公園や自然と融合したレンガのまちといったように景観というものがもうひとつ重要になってくると考えております。

本日の委員会でもご説明させていただきますが、今年は3年に1度の江別市都市景観賞の年となっております。委員の皆様には審査・選考していただく中で、まちの魅力の向上に繋がるような新たな建物や活動などを発掘していただくと幸いでございます。

委員の皆様には江別市のまちづくりや都市景観に関しまして、様々な角度からご議論いただき、ご意見をくださいますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4. 委員の紹介

●鳴海課長

ただ今、皆様には委員委嘱をいたしました。改めまして委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

《司会より、各委員の紹介》

市民公募委員のお二方については、3月に募集を行い、選出させていただいております。続いて、本委員会の事務を所管しております、企画政策部の職員を紹介いたします。

《司会より、事務局の紹介》

なお、本日の委員会については、7名中6名の出席となっておりますので、本委員会が成立していることをご報告申し上げます。

5. 委員長の選出

●鳴海課長

それでは、次第の5「委員長の選出」に入ります。委員長の選出ですが、「江別市景観委員会設置要綱」第3条第5項の規定により、「委員の互選により定める」とされておりますが、委員長の選出方法について、お諮りしたいと思います。何かご意見やご提案はございますでしょうか。

●奈良委員

指名推薦というかたちで、私から推薦させていただければと思いますが、いかがでしょうか。

か。

《委員同意》

●鳴海課長

ありがとうございます。それでは奈良委員、よろしく申し上げます。

●奈良委員

千里委員に引き続きお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

●鳴海課長

ただ今、奈良委員から千里委員を委員長にとのことご推薦がありましたが、千里委員を委員長とすることでよろしいでしょうか。

《委員同意》

それでは、皆様のご賛同を得られましたので、引き続き大変ご面倒をお掛けいたしますが、千里委員よろしくお願いいいたします。

6. 委員長挨拶

●鳴海課長

それでは、次第の6「委員長挨拶」ですが、千里委員長よろしくお願いいいたします。

●千里委員長

委員長として推薦していただきました千里です。任期は3年間になりますが、よろしくお願いいいたします。この委員会では、主に3年に一回の都市景観賞を選出することになります。3年に一回ということでなかなか市民に周知しづらいということで、委員の皆様からの意見を基に、フォトコンテストを2回実施しました。インスタグラムのフォロワー数も毎年増えるかたちで、その効果が出てきていると思います。そして、今回が都市景観賞の年になりますので、市民の皆様からたくさんのご応募をいただいて、市の財産として、市の魅力を伝えられればよいなと思います。そのための応援をしていきたいと思っておりますが、委員長として至らない部分もたくさんあると思いますので、ご協力よろしくお願いいいたします。

7. 委員長代理の指名

●鳴海課長

ありがとうございます。続きまして次第の7「委員長代理の指名」ですが、「江別市景観委員会設置要綱」第4条第2項の規定に基づき、委員長よりご指名をお願いします。

●千里委員長

委員長より指名とのことですが、私と同様に前回から引き続き委員をされております渋谷委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。

《委員同意》

●渋谷委員

よろしくお願いいたします。

●鳴海課長

ありがとうございます。渋谷委員におかれましても、引き続き、委員長代理をよろしくお願いいたします。

また、大変恐縮でございますが、副市長は次の公務のため、ここで退席させていただきます。

●後藤副市長

どうぞよろしくお願いいたします。

8. 議事

●鳴海課長

それでは、お手数ですが、千里委員長は席の移動をお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の資料の確認をいたします。事前に送付しております「議事次第」と表紙右上に「議事1」、「資料1」と記載された資料の3点について、皆様ご持参いただいておりますでしょうか。また、本日配布の資料として、表紙に「江別市景観委員会資料」と記載されたオレンジ色のフラットファイル、都市景観賞のパンフレットとポスターの縮小版(案)をお配りしております。

本日の会議ですが、会場の都合もあり、14時30分頃までを予定しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、これ以降の議事進行については、千里委員長、よろしくお願いいたします。

●千里委員長

本日はおりませんが、傍聴者がいた場合は、本委員会は許可することになっております。

それでは、次第に従いまして、8の「議事」に入りたいと思います。では、「第20回江別市都市景観賞の開催について」、事務局よりご説明願います。

●布澤主査

都市計画課の布澤です。議事の都市景観賞のご説明に先立ち、まずは、昨年度開催した第2回えべつ都市景観フォトコンについて、コロナ禍ということもあり、書面での開催で応募

写真の選考をいただき、ありがとうございました。入賞作品や開催結果については、昨年度報告しておりますが、新たに委員になられた方がいらっしゃいますことから、抜粋して本日配布しております。継続の委員の方にとっては、既にご存じの内容ではありますが、都市景観フォトコンのご説明をさせていただきたく、お時間いただければと思います。

右上に資料(1)と記載されたものをお取り願います。えべつ都市景観フォトコンはInstagramを活用したフォトコンテストで、目的としては、江別市都市景観賞の知名度向上を図るため、都市景観賞開催年の前年に行うものです。募集写真は、都市景観賞や都市景観奨励賞を受賞した建物、風景が入った写真となっております。景観委員の方々に審査いただく「都市景観フォトコン賞」とInstagramの「いいね」の獲得数で入賞作品を決定する「いいね賞」があります。応募件数は、平成30年開催の第1回が414件でしたが、昨年の第2回は752件と大幅に増加しました。入賞作品は、次のページから掲載しており、都市景観フォトコン賞の最優秀賞が「本町通りの街路灯とシンボルモニュメント」、優秀賞が「アートスペース外輪船」、準優秀賞が「酪農学園の白樺並木」となっており、いいね賞は次のページに掲載しております。

最終ページ資料(1)-3 に、広報えべつ5月号の裏表紙に掲載したものを添付しております。市民の多くの方に見ていただけたのではないかと考えております。以上が簡単ですが、都市景観フォトコンのご説明となります。

次に、右上に議事(1)と記載されたものをお取り願います。資料の1ページをお開きください。1、江別市都市景観賞の概要についてご説明します。江別市都市景観賞は、江別市の歴史と風土に調和した都市景観の形成に寄与する建造物や活動などを表彰することにより、市民意識の高揚を図ることを目的とした表彰制度で、現在は3年ごとの開催としており、当年が開催年となります。

昭和62年度の第1回開催から数え、当年実施が20回目となり、これまでの受賞件数は、建造物部門が32件、特別部門が26件の合計58件、第17回開催から新設された都市景観奨励賞が2件です。なお、これまでの受賞物件については、オレンジ色のファイルの中の6番「えべつの景観」に掲載しております。「えべつの景観」は都市景観賞などを紹介しているパンフレットで、市内の各所に配布しており、ご自由にお持ちいただけるものです。なお、前回、3年前の受賞物件は8ページの9番、「いこいのひろば」、9ページの3番、「江別 蔦屋書店」、10ページの12番、「ドラマシアターどもIV」です。また、受賞一覧は13・14ページに掲載しておりますので、ご参照願います。

議事(1)の1ページにお戻りください。2、第20回江別市都市景観賞の実施内容について、ご説明します。募集期間は、7月と8月の2か月間です。次に、募集部門は、「建造物部門」と「特別部門」の2部門です。「建造物部門」では、建築物や建造物により、美しく魅力的な景観を創り出しているものが対象となります。「特別部門」では、持続性があり、個人や団体による活動や造形物、装飾などにより、美しく魅力的な景観を創り出しているものが対象となります。自然風景なども特別部門に含まれます。次に、応募方法についてご説明します。応募方法としては、当日配布資料としてお配りしている、募集案内に挟んである応募用紙などにより、必要事項を記入のうえ、持参、郵送、ファックスまたは電子メールにて、提出してい

たきます。

続いて、資料の2ページをお開き願います。広報については、市の広報誌であります「広報えべつ」の7月号と市のホームページに募集について掲載をいたします。また、お配りしているものはA4サイズに縮小しており、委員長の両側に掲示しておりますが、ポスターを市役所、公民館などの公共施設のほか、JRの各駅や商業施設にご協力いただき、周知を図ります。また、昨年の「えべつ都市景観フォトコン」で活用した、Instagramに開催案内を投稿すると、公式アカウントのフォロワー約670名に周知されるという、広報活動にも取り組んでいきたいと考えております。なお、3年前の都市景観賞開催前のフォロワーは260名程度でしたので、昨年のフォトコンを行ったことにより、フォロワーが約2.5倍に増加しております。今回はより多くの方々に周知できるのではないかと考えております。応募用紙は、都市計画課の窓口や公民館、地区センターなどの公共施設へ配置するほか、市のホームページからダウンロードしてご使用いただけるようにします。

次に、都市景観賞の審査・選考についてご説明します。都市景観賞は、現地視察及び書類審査のうえ景観委員会において選考します。その後、景観委員会の選考結果を踏まえ、江別市長により賞を決定し、受賞者には表彰状や表彰楯などが授与されます。

最後に、都市景観賞の実施に関するスケジュールについてご説明します。2ページの(8)になります。先ほどのご説明のとおり、募集期間は、7月と8月の2か月間です。募集期間が終了した後、多くの応募があった場合、9月中旬頃に一次選考、10月上旬頃に最終選考を予定しております。一次選考前の9月上旬に第2回景観委員会を開催する予定ですが、内容としては一次選考の流れ・方法の説明であり、選考は景観委員会の場ではなく、その後に各自でお願いすることとなります。そこで、昨年の都市景観フォトコンの審査の際に書面開催を行った実績や新型コロナウイルスの感染等を踏まえ、第2回は書面開催とすることを委員長と今後相談させていただきたいと考えております。最終選考は、景観委員会開催の日に、まず現地を確認いただき、戻りまして景観委員会の中で審査・選考をしていただきたいと思いますと考えております。表彰式は、委員の皆様をはじめ、受賞者や関係者の方にご案内して、11月頃に執り行う予定です。

最後になりますが、都市景観賞関係の要領については、資料の4ページと5ページに関する条文を抜粋して記載しておりますので、ご参照ください。議事(1)についての説明は以上となります。

●千里委員長

ありがとうございます。ただ今の説明について、何かご意見などはありますか。

1回目の選考については、事務局とも今後相談しますが、書面開催というかたちで、コロナにも対応しながら活動を止めずに進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

9. その他

●千里委員長

続きまして、次第の9、「その他」について、何かありますか。

●増田委員

今回初めて委員に応募したのですが、素人っぽい意見や質問があると思いますが、容赦していただきたいと思います。

まず、景観委員会の目的について、何点か記載がありますが、この中で、今ご説明のあった都市景観賞の選考が主たるものなのでしょうか。

●布澤主査

本日お配りしておりますオレンジ色のファイルの2番に設置要綱を添付しております。こちらの第1条に都市景観の形成に寄与する建造物等の選考・審査を行うと記載があることから、主なものとしてはやはり都市景観賞の審査・選考になると考えます。

●鳴海課長

補足ですが、今説明があったように基本的には都市景観賞の審査がメインですが、要項の第2条、所掌事項の「(1)街づくりと都市景観の推進に関する意見具申及び提言等に関する事」に関連して、10年以上前ですが、「江別市景観形成基本計画」というものを策定しております。まだこちらの計画自体は有効で現時点では見直しの予定はありませんが、このようなものを策定する時にも景観委員の皆様のご意見を頂戴しながら組み立てていくこととなります。ただ、現時点では都市景観賞の審査・選考がメインと考えております。

●増田委員

そういう活動を通じて、新しいあるいはまだ目についていないようなところをどんどん発掘していくということがこれからの目的になって行くのではないかと思います。

また、都市景観賞について、これから募集開始になりますが、建物などは、いつも同じようなところが選ばれていると感じました。新しく建物などができれば別ですが、過去に賞を取ったというような実績があるところが選ばれやすいと思います。応募してくる方もそういうものを応募しがちというような感じを受けております。実際に募集を開始してからでないかわかりませんが、仮に前回と8~9割同じものが応募されてきたとなるとなかなかそこから選考するのは難しいのかなと感じました。

最後にもうひとつ、委員はもっとたくさんいるのかと思いましたが、意外と少ないですね。たくさんいるとなかなか意見がまとまらないということもあるから、かえって良いのかもかもしれませんね。これは単なる私の率直な感想です。

●千里委員長

貴重なご意見ありがとうございます。委員会の活動について、主な内容としては、3年に

一度の都市景観賞において、市民から応募されたものの審査になります。ですから、委員が良いと思ったものを選出するのではなく、応募された中から選んでいくかたちになります。その際は、基本的に新しいものにしか賞を出しておりませんが、過去に応募があり、その時点では入賞しなかったが、次回以降に応募があり入賞した例はあります。例えば、もう少しすると見頃になるノハナショウブの群生地は、何回か応募がある度に、市民が道を整備したりといった活動があり、そのような活動も含めて入賞したという実績もあります。ですから、過去に応募があり、入賞していなくても、それが時代とともに改善していくと、例えば、古い建物でボロボロだったものを改修し、より良い建物になったことで、入賞することもあります。ただ、新しいものが昔よりは減っているのではないかというご意見も確かかもしれません。ただ、古いものが改善され、入賞するようなケースも是非たくさん出てくることを期待しております。

また、その他の活動として、やはり賞を知っていただいて市民からどんどん応募して欲しいということもあり、これまで2回、フォトコンテストというものを新たに考えてみたりもしております。委員としてはそのような活動をしております。

その他、事務局から何かありますでしょうか。

●布澤主査

次回の景観委員会は、応募物件数が多数の場合、9月上旬に予定しておりますが、先ほどもお話しましたとおり、書面開催も検討していきたいと考えております。委員長にご相談させていただき、改めてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

●千里委員長

新委員の方は初めてですので、何かわからないことがあれば、事務局の方にも聞いていただければ、色々なことを伝えることができますので、よろしくお願いいたします。

他によろしいでしょうか。

●渋谷委員

先ほどご指名いただいたのをご挨拶しておりませんでした。また、今日もそうですが、硬い雰囲気があるのは、しょうがないですが、皆さん来たからには、ひとこと意見を述べられるような感じになったら良いと思いますので、発言いたします。都市景観賞の建物に同じようなものが重複しているという先ほどのご意見は本当にごもつともだと思いました。重複しているというものの中には、私たちが一回も行ったことが無いというところも多かったので、そういうものを私たちが選ぶうえで、右から見るか、左から見るかといった見方などを私たちももっと研究しなければならなかったのでは、良いご意見だったなと思いました。

●奈良委員

そういう意味では、今渋谷委員がおっしゃったように、せっかく今日お会いできたので、ま

さに市民公募された方もどんな気持ちで来られたかなど僕らの自己紹介も兼ねて一言ずつ
いただいたらどうかと思いました。

《委員同意》

地元で建設会社をやりながら、先ほどご紹介いただいたNPO法人 えべつ協働ねっとわ
ーくの代表もしております。サラリーマン時代から江別に戻ってきてもう20年くらい経つ
のですが、サラリーマン時代はモエレ沼公園やキロロのスキー場のような北海道の風景をつ
くりたいと思いながら仕事をしていて、そういう意味では、江別に普通に住んでいる人たちも
気づくことができるような建物を建てたり、みんなの意識が高まるようなまちになって欲しい
なと思い、この場に参加させていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●松本委員

松本でございます。私は、情報大で教員をしており、専攻は会計学です。過去の受賞作を
見ていると、第18回目から関わっているなと思いました。私は大阪出身で、まず北海道
の風景自体が大変雄大だなと思っており、更に、江別は札幌からも便利が良い場所だと思
いますが、それでもすごく自然豊かなまちだなということはこの景観委員会を通して感じま
した。先ほどお話ありましたとおり、都市景観賞の候補に挙がった場所を実際に見に行く
という機会があり、その中でより一層、自然があるなとか、こんな素敵な建物があるのだな
というのを感じてすごく楽しく参加させていただいております。また、応募用紙に応募の理由
を記載する欄があり、ここに応募者の想いのようなものが書かれており、そのようなもの
を見ると、こんなふうに江別のことを考えていらっしゃるかたがいるのだなと、建物だけ
ではなくて想いのようなものを感じられるのがこの景観賞かなと思っております。ただ、それ
に対して審査員から、応募して下さった方にフィードバックできるわけではないので、そこ
に限界があるのかなとも感じておりますが、委員会自体の活動というのはすごく楽しくさ
せていただいております。よろしくお願いいたします。

●増田委員

美術や芸術に造詣が深いわけではなく、全くの市民目線で参加させていただいており
ます。松本委員がおっしゃったように意外と見落とされていたり、発見されていない建造物
や自然もたくさんあると思います。江別をいかにして良くするかという意味で、皆さんに色
々がけていただけてそのようなものが発掘されていけばと考えております。江別というの
はあまり起伏がなく、本当に札幌市の衛星都市のような感じで、人口は増えているけど、今
一つ活気がないといったご意見も聞いております。しかし、そうではなくて、自然や建物も
このように色々なものがあり、進出してますよと胸を張って言えるよう、また、道内でも
人口で10番以内に入り、今では5番目くらいになろうかという勢いですので、そういう意味
でも再度見直したいと思い、今回委員の方に応募いたしました。よろしくお願いいたします。

●三島木委員

三島木と申します。私は、経験も知識も何もなくて本当にただの市民というかたちで参加させていただきたいなと思っております。生まれも育ちもずっと江別で過ごしてきて、就職で数年間江別を離れたことがありますが、結局はやはり江別が住み良いなと思い戻ってきました。フォトコンや景観パンフレット、広報えべつの写真を見て、ずっと住んでいてもわからないことが多いなと感じた中で、市民公募のお話を見て、何も知識も技術も経験もなく、恐縮しておりますが、参加させていただきたいと思い応募しました。よろしくお願いいたします。

●渋谷委員

渋谷です。私は江別へ引っ越してきて 25 年になります。一番長く住んでいるところなので、ここがきっとふるさとなのだという気持ちで住んでおまして、景観なども新しいものを発見してきております。私は結構良い年齢なのですが、去年の 10 月から大学の通信で芸術などを学んでいて、最終的にはまちをアートするというのも学びたいなと思っており、ここでの皆さんとの話はすごく学びになるので、一回一回を大事に参加したいと思っております。よろしくお願いいたします。

●千里委員長

最後に私からも簡単に説明します。私は北翔大学で、昔の道短の時代から教えているのですが、江別には平成 6 年からおり、大学では芸術学科で一級、二級建築士の養成をしております。大学院では、生涯学習を教えております。江別の委員は色々なものやってきましたが、実はこの委員会が一番好きです。というのが、江別に住んでいながら本当に知らないものが市民から上がってきたりします。その時に、知らないものがまだたくさんあるのだという感動や違う目線で見ると、こういう考え方もあるのだなと非常に勉強になります。ですから、大変な部分もありますが、非常にわくわくしながら、いつも参加させていただいております。今年もまた新しいものや江別の宝になるようなものが出てほしいなと期待しております。よろしくお願いいたします。

最後になってしまいましたが、自己紹介は本当に大事ですね。最後に事務局から何かありますか。

●鳴海課長

市民委員の皆様は今回初めてですので、改めて説明いたします。先ほど委員長からお話ありましたが、基本的に本委員会は公開で開催しますが、都市景観賞の最終的な選考の時だけは、非公開で開催しますので、活発な意見をいただければと考えております。

10. 閉会

●千里委員長

ありがとうございます。本日本日の議事につきまして、すべて終了いたしましたので、以

上をもって閉会したいと思います。ありがとうございました。